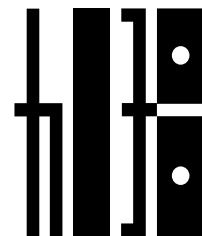


KASHIMO PAPER

April 2021

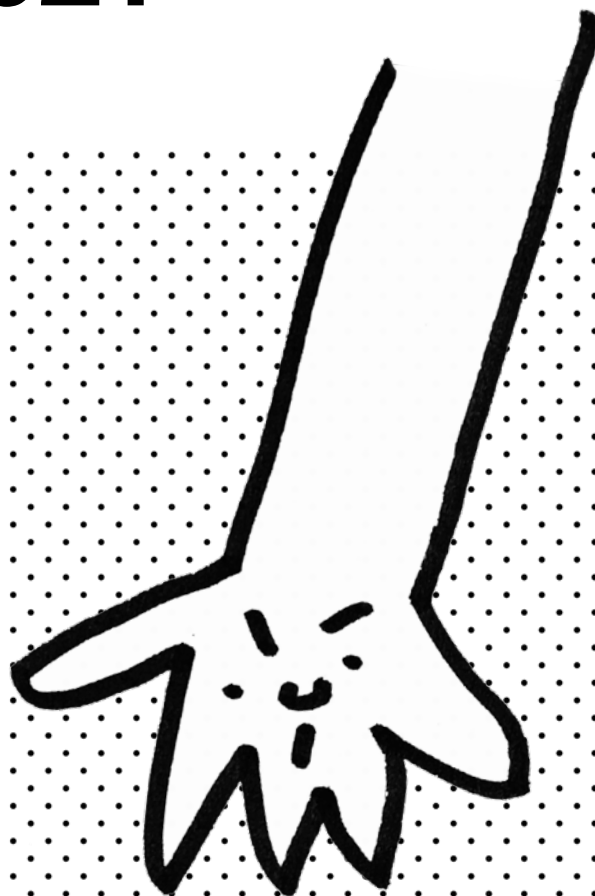
Vol.192

monthly issue.



かしも通信

SINCE 2005



特集 清流の国ぎふ 2020 地歌舞伎勢揃い公演

勢揃い公演の様子をつぶさに語る

勢揃い公演の様子をつぶさに語る

歌舞伎ソムリエ おくだ健太郎
聞き手 秦雅文(加子母歌舞伎保存会)



おくだ 加子母一座のチーム加子母としての芝居というのが伝わってきて、義太夫の音楽や流れとびつたりだったので、すごく見応えがありました。一体感が濃い一座だなという風に、僕は強烈に感じましたね。

秦 生の演奏と合わせるのはいりハールと本番だけなので義太夫をよく聞くように心がけたのですが、ちよつと間が悪かったようです。

おくだ お師匠さんとしても、テンポが合わないという指示が出せるのは、やっぱり普段それだけ義太夫を聴きながらお芝居を重ねているわけです。だからこそ、そういうダメ出しも出せるでしょうね。義太夫の入る芝居ってというのは、義太夫が全体の指揮者みたいな感じにならないと良くないんです。つまり義太夫と役者との一体感がないと面白さっていうのが出ないんですよ。

義太夫の方も当日のホールの大きさを感じながらの演奏になるでしょうから表現が大きくなるっていうのはあるかもしれませんが、でもそれくらいの方が客席から見るとは表現がすごいことです。

おくだ 観に来る人たちだって洗練された芝居を見たい人は歌舞伎座へ行くと思うんですよ。僕が思うのはプロ野球と高校野球のように、プロ野球のレベルはもつと高いんだけど高校生にもいるとはいえレベルは違います。でも、たとえ母校が出てなくても、選手が打ち込んでいる純粋な姿を見たいと思いますよね。高校野球にしかない何かがあります。それに似たようなものがあると思います。

地歌舞伎も岐阜の人なら良く頑張ってるなあという地元応援の気持ちで観て楽しんでいるんではないでしょうか。役者の皆さんが日々の仕事を持ちながらも頑張っている姿に惹かれるというのがあります。

秦 今回拍手が少なかつたんですが、役者は舞台の上で拍手をもらえるべきところで拍手が貰えないと自分がミスしたと捉えがちなんです、今回はコロナ

大きく感じられると思います。

舞台上からの感覚と客席では感覚が若干違ってくるのかもしれない。

秦さんは、おばあさん役をやってみてどうでしたか

おくだ 僕らよく言うのは、芝居でおばあさん出てくる一幕っていうのは、本当の意味での主人公はおばあさんだよってよく言うんですよ。どんな演目でも芝居ってそういうふうになってきてるんですよ。扇子で言えばバツと目が行くのは描いてある絵だったりするんだけど、おばあさんは扇の要なんですよ。

このお話は、お父さんが反乱を起こしてそれに家族が巻き込まれちゃったという話です。だから光秀はお母さんは殺しちゃうし子供は死んじゃうしということ、その悲劇の部分を感じた皐月と十次郎の二人が特に印象に残りました。

十次郎の手負いのところのリズム感っていうのは素晴らしい。対策の影響もあったのかなと。

おくだ ひとつ言えるのは、今回イヤホンガイドをしたんですよ。その分、少しお客さんが冷静に観るようになったんじゃないかなと思います。ガイドする人がいい悪いではなく、これはガイドの仕組みの宿命で、第三者に中身をサポートして観ることになるから地歌舞伎でおひねりが飛んで盛り上がるどころなんていうのが薄まるのはしょうがないですね。ただその分じっくり中身を味わって観ていただけたとは思っています。さらに興味を持ってくれる人が増えると思います。

またその環境が定着してくると皆さん慣れますからね、客席の生き生きした反応も戻ってくるんじゃないかなと思います。大向こうが無かったことに加えて、おひねりはビジュアル大向こうみたいなものですから、それが無かったことも影響したんじゃないかな。

でも今回は素晴らしい舞台でしたよ。

かったです。

皐月も手負いになってからのセリフも良かったですが、むしろ十次郎が出てきた時の「あつぱれ武者ぶり…」のところなんか大きな出来事が起きていないところのセリフっていうのが、かえって難しいと思うんですよ。

ガイドの葛西さんのコメントで「祝言の支度をする時に若い二人の結婚式っていうものが戦に出ていくということ重なってしまった悲しい場面です」というのをおっしゃったんですよ。それは皐月のセリフの「祝言と出陣と一緒の盃…」というあの一言が、この悲劇を象徴しているんですね。そういうことが今回は伝わってきました。

光秀も暗がりから出てくるスケール感というか見応えありました。初菊は小学校六年生でしょ。初役だというのに吸収力がいいのか素晴らしい。今の世の中、戦なんていうものを実感することってないですが、思春期の子供がこの話をどういう気持ちで感じたのか聞いてみたいですね。操も芝居の基本が入ってるなと思いましたね。久吉が花道に逃げていく時、一瞬光秀と目が合いますよね。あれは

大歌舞伎ではやらないんですよ。プロの歌舞伎では廃れてしまつたものが残っているわけですよ。逃げていく場面があることと話の流れはわかりやすくなります。もともと上方の芝居は説明をする芝居を好む傾向にあるんですよ。だから上方のプロの芝居には元にはあつたのかも知れないですね。今の地歌舞伎には見えない型です。正清には拍手も来てましたが、重苦しい話の最後に登場する、はつらつとした演技は開放的でした。久吉の家来はセリフはありませんが全員参加の地歌舞伎感には伝わってきました。

大歌舞伎ではお客さんも役者本意で観るでしょ。だから展開するドラマが薄くぱらくしか伝わらない時があるんだけど、地歌舞伎っていうのは逆に加子母に限らず、お話の本質って言うのかな、そういうものを伝える力っていうのが強いんですね。そんな気がしました。

秦 いつも多くのお客さんに観にきていただいているのですが、地元で知っている人が出ていて観に来るっていう方もいれば、遠くからいらつしやるお客さんは役者が誰なのかっていう

**加子母地区社会福祉推進協議会
子育て支援**

加子母地区社会福祉推進協議会では、加子母地区の満一歳児を地域の方々に紹介することで少子化の現実を知っていただき、地域全体で見守り、子育て支援ができることを目的に行っております。



氏名 **佐野 風太**くん
 誕生日 令和1年9月20日
 ご両親 父親 佐野 智哉さん
 母親 愛美さん
 地区 小郷区



氏名 **中津 路**ちゃん
 誕生日 令和2年2月4日
 ご両親 父親 中津 政守さん
 母親 晴香さん
 地区 上桑原区



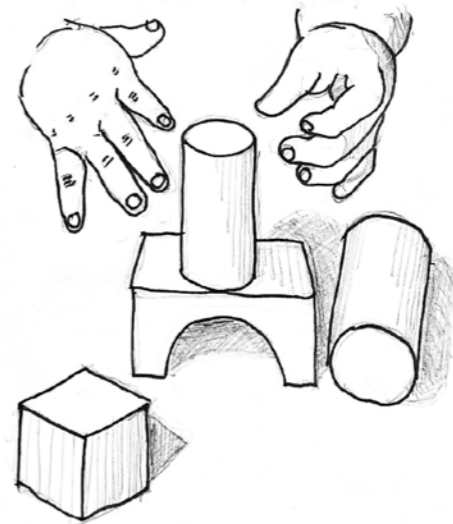
氏名 **田口 ゆきの**のちゃん
 誕生日 令和1年12月

佐野智哉の キッズキート

子供が1歳半になりました。未だに何を考えているかわかりませんが、何をしたいという意志が出てきて、わがままも言うようになってきました。(笑)

散歩をしている時に、自らの意志で近所の家へ向かいドアを開けようとしたり、いつの間に周囲の環境や楽しみを覚えているのか感心もしてしまいます。まだ上手にできませんが、積木を積む時も、自分なりに慎重に取り組んでいる様子は、なんだかおもしろくて笑ってしまいます。

特に教えるわけでもないのに、自然と覚えていく過程は不思議なものです。知ることは楽しいことであると教えてもらっている気がします。



万賀の植花夢 (ウエルカム) ガーデン

その場所は、冬でもブーゲンビリアが咲き乱れる処。ペチュニアが、冬を越して春まで咲き続け、一株が、大きなプランター一杯になって、また初夏の庭を彩る。加子母では、そんなこと不可能と思っていたけど、不可能を可能にして花作りを楽しんでいる人がいる。万賀の伊藤里子さん。初めて伊藤さんのハウス、「植花夢 (welcome) ガーデン」にお邪魔したのは一昨年のお秋。とても驚いたのは、直径 60センチくらいある大きな植木鉢に、太さ5センチもある長い根がぐるぐるとぐるを巻いて、鉢に入りきらなくて、競り上がっている。セロームという観葉植物。これほどまで大きくなるのは珍しいという。寒い冬を越して、あの温暖でしか育たない植物達はどうしているのかと思い、3月の初めに伺った。ブーゲン、ペチュニアはもちろん、他の家ではまだ花芽が付いているかどうかの君子蘭が、オレンジ色の豪華な花の房を付けて所狭しと並んでいる。日本では、沖縄以外で花を見る事は難しいと言われる、セイロンベンケイソウが、薄いオレンジ色の、小さな釣り鐘のようなかわいい花をたくさん付けている。紹介したい不思議な花はたくさんあるが、その中でとても気になる植物があった。名前は、「地湧金蓮花」 チウウキンレンカ。花は黄金色で、蓮の花の蕾に似ている。次々と花びら (包) を開いていく。一枚、一枚、衣を脱いでいくという感じだ。でも、蓮の花のように開ききってしまうことはない。花は、開ききらずに、衣を一枚脱いで、蕾を上へ上へと伸ばしていく。一年近く咲き続け、株を大きくして、ここに三十年近く生き続けているそうだ。「新しい葉が出てきたので、ここにも花が出来ると思うわ」と、里子さんが話してくれた。なんと不思議な花々。それに、植物のパワーに満ちた「植花夢ガーデン」。暫く、加子母の熱帯植物園を楽しませてもらった。

かしも紀行
 聖山スケッチ

**あの世まで
仲良し珍道中で参りましょ**



申し申し中村さん、あなたのようにそのように行きつ戻りつなされては、根っから道がはかどらぬ。そこらでチョット一休み。おまんま食って力つけ、それから一気に急ぎましょ。「そうだね、そうだね。全くだ。」ウサギと亀の駆けくらべのように、えらけりゃ休んで昼寝して、のどが乾けば水飲んで、雨が降りだしや木陰にかくれ、規律のある日が続いた後にゃ、自然にまかすが合点か。世の中のしきたりにそうのも大変だ。相撲でも必ず、一人が勝てば一人が負ける。選挙で 60% 勝っても、必ず反対する人 40% のように。国会協議の様子を見ても多数の意見が食い違う。生きるの難しい。大体のところで線を引き、目に見えなくても信じる人は宗教心を養って、すべて感謝で参りましょ。「そうだ、そうだ。そうするよりないもんな。」まいりましょ、まいりましょ。

コウノトリ

加子母の赤ちゃん

月	2019年度		2020年度	
	男	女	男	女
4月	0	0	0	1
5月	0	0	0	0
6月	2	0	0	0
7月	0	0	1	2
8月	1	1	0	1
9月	0	0	0	1
10月	0	0	1	0
11月	0	3	1	0
12月	0	0	0	0
1月	0	1	0	0
2月	0	1	0	0
3月	3	6	3	5
計				

(令和3年3月15日現在)

からしお吟社

短歌	短歌	短歌
五十年来始終の好縁しねもあこしは昔人の名もあこしは地	「城の起り」に城の起りぬれり」」人許に地獄の火の炎しけし	スーパースターにスーパースターに集りての今もあこしは
田口 尊子	三浦 潮彦(夢)	今井 英雄



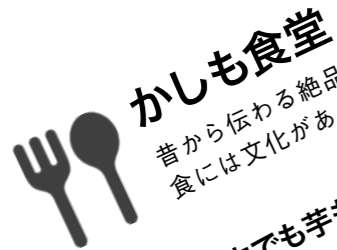
上区 **林バームクヘン** オス3才

僕の名前の由来は、ご主人さまの大好きなんだ。とっても美味しそうでしょ。僕も食べてみたいな。あ、共食いになっちゃうのか(笑) 僕が生まれた場所は、和歌山県でペットショップに行き、悲しいけれど売れ残っていたんだ。そんな僕を見て、ご主人さまが家族に迎えてくれたんだ。きっとご主人さまと家族に出会う為だったんだね。僕の好きなことは、食べることと水遊びだよ。食べるのが大好きで食いしん坊なんだ。もうすぐ暖かくなる日が来るから、たくさん食べてたくさん水浴びが出来たら幸せ。

年末年始に大雪が降り、散歩中に排泄するのを忘れちゃって、家の中でうんちしちゃったんだ。ご主人さまも印象的だったと話しているんだけど、僕がいちばんビックリした出来事だったんだ。

苦手なものは、大きな音と怒られること、そして男の人。大きな音や怒られることは何度聞いても慣れないんだ。男の人と同じで、苦手。何でだろう？僕がオスだからかな。



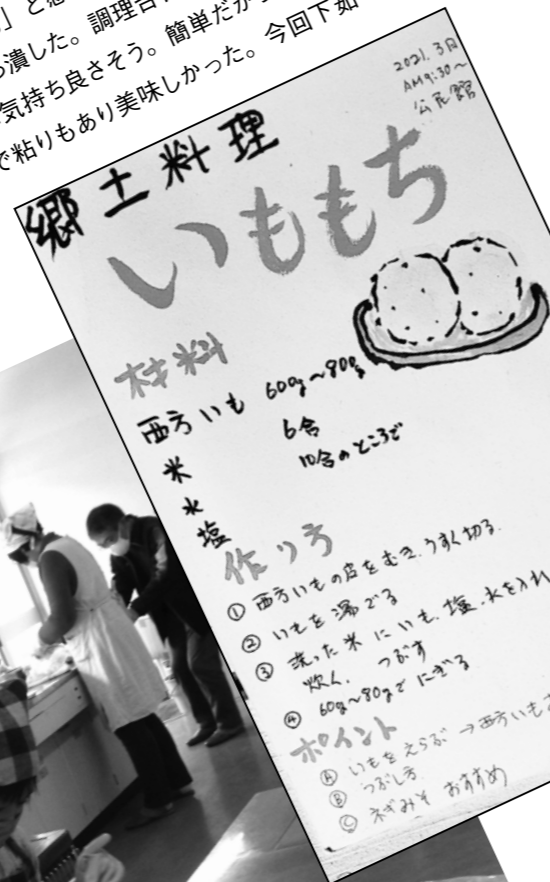


かしも食堂

昔から伝わる絶品料理を紹介！
食には文化があらわれる。

コロナ禍の中でも芋もち

BG 財団より、郷土料理講習会の依頼がありました。「コロナ禍の中では、無理ですよ。」と言いましたが、コロナ禍の中で講習を開く工夫をしました。加子母の郷土料理のほう葉すし、いももち、ケイちゃんなどの絵手紙をかけた。絵手紙を描いた子供さんが、「里芋に始めて触った。」と感想を描いてくれた。そして、手洗い、消毒、エプロンを付けて里芋と一緒に炊いたご飯を袋の上から漬した。調理台各一人でソーシャルディスタンスをとって握った。子供たちは、手袋して握ったので、生でさわれば気持ち良さそう。簡単だからい家ででも作りたい。」と話してくれました。たなか野菜畑の大きい西方いもだったので粘りもあり美味しかった。今回下茹でした芋と汁を使ったので絶品になりました。



加子母の美味しい料理や昔の料理など教えてください。
福井やよい ☎ 0573-79-2627

編集後記

子供が大学を卒業した。中学校の頃から頑張ってきたスキーも、ひと区切り。ついに引退の時がきた。これまで色々な事を経験した。親の僕は自分では到底見ることができない世界を見ることができた。僕自身もこの経験をいかしていきたい。まずは文章にしてみるのが目標。そして次女も姉の後ろを追いながらスキーを頑張っている。でも彼女は姉とは状況が違う。選手を諦めなければいけないようなピンチもあった。でもなんとか乗り越え、今は大差のあった選手たちに少しづつ近づいている。姉の存在はまだまだ雲の上だけど、勝つことだけが全てではないとはいえ勝たなくては先には進めない、チャンスも掴めない。だから僕も応援をする。どこまで行けるかチャレンジあるのみ！
久しぶりに会うと、すっかり青森弁だ。お姉ちゃんより上達が早い！

小郷 けいちゃんの こざと

お持ち帰りも好評です！

Tel: 79-3618
(サブロクジュウハチ)
定休日 月・火曜日



ニワデン

(一財) 岐阜県消防設備協会会員

消火器の点検、販売、廃棄処分ご相談ください。
悪質な消火器の訪問販売にご注意を！

Tel. 79-2285



かしも通信

2021年3月25日発行 No.192

Publisher Hara Yuumi
Editor in Chief Hata Masafumi
Deputy Editor Honma Kiyoko
Editors Taguchi Sachiko
Tanaka Hiroko
Sato Yoko
Sano Tomoya
Fukui Yayoi
Susaki Yusa
Fukui Rie
Correspondent Zenda Nao
Illustrator Honma Kiyoko



かしもっ子だよ全員集合！



小学校 大川小学校校歌額が完成しました！

3月5日(金)に、東日本大震災で被災した宮城県石巻市立大川小学校に寄贈する校歌額が完成しました。5年生は昨年の12月にこのプロジェクトに参加して、一人一枚校歌額に使用する文字版を彫りました。全国のいろいろな学校の児童生徒も参加しており、各校で彫られた文字版が中島工務店に送られました。それを中島工務店で組み立てられ完成した校歌額を5年生が見学に行きました。その後宮城県に送られ大川小学校のどこかに飾っていただく予定になっています。これをよい機会として、今後も災害についての学習を行っていきます。



保育園 誕生会

3月の誕生会で全園児が一つ大きくなりました。手作りのひな人形を飾ってひな祭り会も行いました。今月のお楽しみは、子育て支援センターくるりんぱさんが主になり手作りの劇「おでんのゆ」を行って下さいました。同じ加子母の地域内でこうやって子どもを見守る輪が出来ていることは安心につながる事だと思っています。さあ、楽しみの春です。新型コロナウイルス感染症の影響もまだ続くと思いますが、前を向いて元気に成長していく事を願います。
皆さんおめでとございます。



加子母・付知子育て支援センターくるりんぱ
感染症拡大防止対応の『くるりんぱ開放日』を設けています。
詳しくはこちらからご確認ください。



4月の行事予定

【お願い】現在、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、イベント等が中止や延期、規模を縮小しての開催になっています。下記予定も変更等される場合は十分にありますので、ご承知おきください。

1	木	【小中学校】学年始め休業日（～4/6）
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	【保育園】入園式 【中学校】入学式準備
7	水	区長会初顔合わせ（15:00～） 農事改良組合長会初顔合わせ（19:30～） 【保育園】家庭訪問 【小学校】始業式・入学式 【中学校】着任式・始業式・入学式
8	木	【保育園】家庭訪問 【小学校】交通安全教室 【中学校】1年生交通安全教室 【中学校】生徒会始動式
9	金	【保育園】家庭訪問 【中学校】全校実力テスト 【中学校】PTA本部役員会
11	日	大型・有害ごみ（9～13）
12	月	【保育園】家庭訪問 【小学校】命を守る訓練 【中学校】全校身体測定 【中学校】部活動紹介
13	火	【保育園】身体測定
14	水	
15	木	【保育園】誕生日会・避難訓練
16	金	
17	土	
18	日	不燃・資源・硬質ごみ（17～18）
19	月	※3か月児健診（午後 福岡会場） 犬の登録・狂犬病予防注射 【小学校】1年生を迎える会
20	火	
21	水	
22	木	農事改良組合長会（19:30～）
23	金	区長会
24	土	【小学校】授業参観・PTA総会 【中学校】授業参観・PTA総会・学年懇談会
25	日	
26	月	【小学校】家庭訪問
27	火	
28	水	【小学校】家庭訪問
29	木	昭和の日
30	金	【小中学校】24日の振替休業日



※4月から乳幼児健診、BCG予防接種の会場は福岡総合事務所に変更となりました。

こちら総合事務所です

このページでは、加子母総合事務所からみなさんへ、地域に密着した情報をお知らせします。みなさんの身近な地域情報をお寄せ下さい。（加子母総合事務所:0573-79-2111まで）

新型コロナワクチン接種のお知らせ①

■ワクチン接種は段階的に進めます

現在、市では、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に向けて準備を進めていますが、ワクチンの供給量によって接種は段階的に進められますので、随時、ホームページ、メール、広報などでお知らせしていきます。

■高齢者の方から順次接種券を発送します

接種は無料です。接種券が届いたら、事前予約が必要です。

詳しくは接種券に同封の案内をご覧ください。

☎ 広報なかつがわ4月号10ページ参照



中津川市
ホームページ

自動車税種別割の身体障がい者など減免申請の臨時窓口

令和3年度自動車税種別割の身体障がい者など減免申請の臨時窓口が開設されます。

（軽自動車を除く）

■と き 4月22日（木）、5月17日（月）

9～16時（受付15時30分まで）

■ところ 恵那総合庁舎 ※多治見市の東濃県税事務所では随時受付を行います。

■申請の必要な方

- ①新規に申請される方
- ②減免中の方で岐阜県自動車税事務所から減免ハガキで「変更あり」と回答された方

■岐阜県東濃県税事務所 ☎ 0572-23-1111

図書室だより

【おすすめ図書】

■天涯の海 酔屋三代の物語（著 車浮代）

3人の又左衛門は、いかにして粕酢を江戸中に広めたのか。いまや世界で愛される日本の「寿司 SUSHI」。その流行の淵源となった「粕酢」に生涯をかけた人々の歴史長篇小説。

■子どもが作る弁当の日 「めんどくさい」は幸せへの近道（著 城戸久枝）

全国2000校で実践中の「弁当の日」。献立、買い出し、調理、弁当箱詰め、片づけ、すべてを子どもがやる。親は決して手伝わないで。家事料理苦手の「母ちゃん」が出会った、幸せのヒント。

■食えることと出すこと（著 頭木弘樹）

大学生のときに潰瘍性大腸炎という難病に襲われた著者。食事と排泄という「当たり前」が当たり前でなくなったとき、世界はどう変わったのか？切実さの狭間に漂う不思議なユーモアが、何が「ケア」なのかを教えてくれる。

■こんなにスゴイ！未来のせかい（監修 増田まもる）

時代はもうSFを超えている。現在構想されている壮大な未来プロジェクトから乗り物、家、エネルギー、農業、医療や暮らしのアイテムまで、大人も知らない驚きの未来世界を迫力のビジュアルとともにわかりやすく解説する。

■だれのパンツ？（作 シゲリカツヒコ）

空からパンツがおちてきた!?もち主に届けようと団地に入ったら、カメレオンにゆうれいに…。ヘンなところに迷い込んだ。さがし絵要素も満載。読むたびに発見のあるユーモア絵本。



加子母の人口と世帯数(令和3年3月1日現在) 世帯数:964世帯 男:1,296人 女:1,355人 計:2,651人